



学校だより

こ

やさとっ子

四日市市立八郷小学校

第8号

令和5年5月30日

めざす子どもの姿:かしこい子 あたたかい子 たくましい子

「あいさつをしっかりしてくれています。」

先日、「八郷小学校区補導委員会」がありました。この会には、各町の代表の方や小中学校の校長や教員、PTAや地域など各団体の代表の方が参加され、子どもたちの安心・安全のためにできることを、年間を通じて行っています。例えば、夜間や長期休みの町内パトロール、「見守りの家」の管理、地区懇談会などです。

この委員会に出席されていた、伊坂台の自治会長さんから、「通学路途中にある花壇の世話をしていると、通っていく小中学生のほとんどが、すすんであいさつをしてくれるのでうれしい。」と教えていただきました。これを聞いて、わたしもうれしかったです。あいさつは、人と人がつながる第一歩です。地域の方ともあたたかいつながりをつくっていくことや、顔を覚えてもらうことは、地域全体の安心・安全のためにも大事なことです。

先日の学校運営協議会のときも、委員の方が、下校見守りのために立っていると、「さようなら」「ただいま」「ありがとうございます」などのあいさつをよくしてくれると教えていただきました。

これからも、明るく、気持ちよく、あいさつをしていきましょう。

朝のあいさつ運動に取り組んでくれている5・6年生の代表委員さんも、どうもありがとうございます！

田植え体験をしました。

9日(火)、今年も5年生が田植え体験をしました。地域の方のご厚意で、田植えと稲刈りの体験をさせていただいています。

ひんやり、ねっとりする土の中に足を入れるのは少し勇気がいりましたが、なめらかな土の感触も、よい体験になったと思います。各自が、苗の束をもらい、2~3本取り分けて、土の中に差し込んでいきました。足元が不安定で、歩きにくいので、少しの田植え体験であってもたいへんでした。

残りは、機械植えを見せてもらいましたが、あっという間に終わるので、機械の便利さを実感しました。でも、米作りには、「米」という漢字から「八十八のたいへんさがある」と言われるとおり、水の管理や草刈り、病虫害の予防など、様々に手をかけて、やっと「ごはん」としていただけるのです。

日常の世話は、地域の方にお世話になるのですが、子どもたちは、稲の成長の様子を観察したり、米作りについて学習をしたりしていきます。

5月下旬になり、イネの葉が青々と茂ってきました。元気に育ってほしいです。

家庭学習・読書チャレンジ週間を終えて

連休明けの5月8日から14日まで「家庭学習・読書チャレンジ週間」はどうでしたか。家庭学習に取り組む時間や内容を各自で意識したり再確認したりすることができましたか。

集中して取り組むためのポイントがカードに書かれていたので、意識することができたようでした。また、5・6年生は普段から自主学習にも取り組んでいますが、3・4年生でも取り組む人が増えました。

意識して続けていきましょう。

お家の方からも、子どもたちの頑張りの様子をつたえていただきました。

- 集中できていてよかったです。
 - 学校から帰るとすぐに宿題に取り組みました。
 - 勉強する時間が固定化でき、習慣作りのきっかけとなりました。
- ご協力ありがとうございました。

読書については、低学年では、家の人といっしょに読書（読み聞かせ）をすることで、「楽しかった。」という子どもたくさんいました。高学年でも、家にある本を手取るようになった子どもいて、読書や本にふれる機会となったと思います。

5月29日（月）からは、「としょかんまつり」です。朝の読書も毎日になりますが、雨で、外遊びできないときは、図書館や図書コーナーの本をぜひ読んでみてください。

「読書ビンゴカード」も用意してもらいました。ぜひ、図書館の本を借りに行ってみてください。

